

道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

「Good Loser」(グッドルーザー)

今週に入り日毎に暖くなり、本格的な春の到来が近いことを実感します。校庭の桜のつぼみもふくらみ、4月6日(金)の入学式を待ちわびているようです。早いもので本日3学期の終業式を迎えました。同時に1年間のカリキュラムが修了したという日でもあります。

新たな学年へ進級するに当たり、この1年間を振り返って、自分はどうかであったかを考えてください。勉強のこと、周りの仲間のこと等を振り返り、普段の生活の中で自分はこれで十分であったと胸を張れるでしょうか。4月からは何となく新しい学年に進むのではなく、**この1年間を反省し、新しい学年での目標に向け努力を続けて欲しい**と思います。

“竹”は、もともと弾力性のある植物ですが、もし竹に節がなかったら、少しの雪にもすぐ折れてしまうでしょう。人間も同じようなことがいえます。**人生の節目がしっかりしているほど、しっかり成長する**といわれています。皆さんも学年が変わるという節目をしっかり過ごして欲しいと思います。

さて、先月韓国の平昌で開催された冬季オリンピックにおいて、日本選手は大活躍で過去最多の13個のメダルを獲得しました。そして、オリンピック終了後しても休む間もなく、W杯など世界各地を転戦する選手の活躍も連日報道されています。また、現在パラリンピックで熱戦が繰り広げられています。

それぞれの競技を観戦していて、自分のベストを出す選手もいれば、力を十分発揮できなかった選手もあり、悲喜こもごもでした。そして、試合後の選手の姿を見たりインタビューを聞いていると、以前耳にしたことのある**「Good Loser」**という言葉が思い浮かべました。**「良き敗者」**という意味で、「敗れても潔(いさぎよ)い人」のことを言います。

たとえ、不本意な結果でも、悔しい気持ちを抑えて勝者を讃え、支えてくれたスタッフや応援してくれた人々への感謝の気持ちを表現できる人こそ**「Good Loser」**と言えます。そして、「真のトップアスリート」は常に周囲に配慮した言動ができ、勝った時には敗者を思いやることができるでしょう。

スピードスケート女子500mで金メダルに輝いた小平選手と2位の韓国の李選手が、レース後お互いを称えあった姿が思い出されます。女子フィギュアスケートで惜しくもメダルに届かず4位の宮原選手は自分の力を出し切り、「思う存分楽しめた」と試合後に見せた晴れやかな笑顔が印象的でした。また、銅メダルを獲得したカーリング女子。準決勝の韓国戦で延長の末に負けた瞬間、すぐに勝者に握手を求めた態度も素晴らしかったです。

「Good Loser」は思うようにいかなかった時に、人のせいにせず原因は自分自身にあると考えられる人たちです。皆さんもこれまでの生活を振り返ってみると、上手いかなかった事も少なからずあったと思います。その時、不平や不満ばかり言っても解決しません。やはり、常に自分を見つめ黙々と努力することが大切ではないでしょうか。